

Expressed Wish

(表出された希望・内なる望み)

vs

Best Interest

(最善の利益)

障害者権利条約をベースとした意思決定支援 (Supported decision-making) の斬新かつ効果的な実践モデルとして、現在、南オーストラリア州支援付き意思決定モデル (SA-SDM) が世界的な注目を集めている。その SA-SDM モデルの基本原則をなすのが、本人の「表出された希望・内なる望み (エクスプレス・ウィッシュ expressed wish の仮訳)」への焦点化である。これは、表出機会がなく伝えられなかった本人の内なる希望・意思が、支援者等の傾聴により、周囲の都合によって歪曲することのないまま表明され、表出されたものを指す。

現在の日本では、特に福祉分野・成年後見などの場面において、意思決定支援の基本原則・ガイドラインとして、いわゆる「最善の利益 (ベスト・インタレスト best interest)」が引用されることが多い。しかし、最善の利益原則は、本人が適切な支援を受けてもなお意思決定が困難な場合に、最後の手段としての他者による代理代行決定の場面で用いられる基本原則である。それが本人による意思決定の場面にまで用いられることは、本人の真の希望や意思が脇に置かれ、あるいは挑戦するチャンスが奪われ、結果として本人による意思決定の潜在能力を狭めてしまうおそれがある。

私たち SDM-Japan は、本人による意思決定の場面における支援原則は「表出された希望」への焦点化によるべきであると考えている。結果として、本人が、自信と勇気を取り戻し、徐々に自分の意思を表明し、より大きな意思決定を行うことができるようになること、そして、周りの支援者が「最善の利益」の支援原則から「表出された希望」の支援原則へと変化していくことこそが、障害者権利条約が求める支援付き意思決定制度への転換の出発点であると信じている。

支援付き意思決定・意思決定支援(SDM)

実践シンポジウム

Supported by

THE NIPPON
FOUNDATION

平成29年7月9日(日) 15:30~18:30

会場 東京大学本郷キャンパス工学部2号館213大講堂 (本郷三丁目駅下車)

**主催
共催** 意思決定支援モデル開発プロジェクトチーム (SDM-Japan)
東洋大学福祉社会開発研究センター障害ユニット

対象 障害者・高齢者・児童などの相談員および福祉関係者、社会福祉協議会関係者、行政職員、医療関係者、
教育関係者、法律職・市民後見人、障害のある本人・家族など、
成年後見制度や意思決定支援に関心をお持ちの全ての方

参加 2,000円(資料代)

※一般社団法人地域後見推進センター主催の市民後見養成講座修了生は無料

本シンポジウムは、意思決定支援の原点に立ち返り、実践場面でどのように活かしていくかを、SA-SDMの実践者や相談支援・成年後見に関する実務経験豊富なパネリストとともに議論していく。支援者が本人のためにと良かれと思って行動する「最善の利益/ベスト・インタレスト」型支援から、本人の真意を読み取りその実現に向けて一緒に考え・行動する「表出された希望/エクスプレス・ウィッシュ」型支援への発想転換が今、まさに求められている。

意思

決定支援

Supported decision-making

助成 日本財団

後援 一般社団法人地域後見推進センター 他

スケジュール（仮） ※タイトル・時間配分・登壇者については変更の可能性があります

15:30

主催者あいさつ・趣旨説明

『SDM-Japan の目指すもの』

水島 俊彦 (弁護士/SDM-Japan 代表/日本弁護士連合会高齢者・障害者権利支援センター委員/青森県弁護士会/法テラス八戸法律事務所)

16:10

シンポジウム

Expressed Wish (表出された希望) vs Best Interest (最善の利益)

～日本における意思決定支援 (SDM) の取り組みと可能性～

司会 名川 勝 (筑波大学人間系講師/SDM-Japan 副代表/NPO 法人 PAC ガーディアンズ理事長)

コメンテーター 木口 恵美子 (東洋大学福祉社会開発研究センター研究支援者/白梅学園大学非常勤講師)

パネリスト 松隈知栄子 (弁護士/日本弁護士連合会高齢者・障害者権利支援センター委員/愛知県弁護士会)

～南豪州視察における発見と成年後見活動に対する変化～

本間 奈美 (佐渡市 相談支援事業所こもれび/相談支援専門員) ※web 会議参加予定

～相談支援における取り組みと SDM の可能性～

野口美加子 (新宿区手をつなぐ親の会)

～本人を中心としたネットワークの活用: SA-SDM の日本での実践経験から～

18:15

閉会のあいさつ

『SDM-Japan の今後 ～南豪州 SDM トレーナー来日集中研修について～』

小杉弘子 (SDM-Japan 副代表)

申込手順

下記事項について記載のうえ、メールまたはファクシミリ (下記のフォームをご使用ください) にて申込ください。資料代 2,000 円については、当日現金にてご持参いただきますようお願いいたします。

■ 氏名 (ふりがな)		■ 所属	■ 車椅子のご使用の有無
			有・無
■ 連絡先 (電話・メール)			
電話)		メール)	
■ 当日に介助・支援が必要な方は、ご記入ください。			

申込先 ➡ 【メール】 sdm.pt2015@gmail.com 【FAX】 03-6676-6384

切 ➡ 平成 29 年 6 月 30 日 (金) (切申込は定員となり次第終了となります)